

令和2年度第1回  
豊後高田市総合教育会議

日時 令和3年2月12日（金）13:30～

場所 市役所高田庁舎3階 防災対策室

～ 次 第 ～

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 協議・調整事項

- (1) 児童・生徒の学力、体力について . . . 2～16
- (2) G I G Aスクール構想について . . . 17～19
- (3) 学校施設の長寿命化について . . . 20～25
- (4) 児童・生徒数の今後の推移と35人学級制について . . . 26～30
- (5) 中学3年生の進路状況について . . . 31～32
- (6) いじめ・不登校対策について . . . 33～35

4. 意見交換

5. 閉会

## 協議・調整事項

### (1) 児童・生徒の学力、体力について

## 令和2年度の各種学力調査について

### 1. 全国学力・学習状況調査について⇒全国一斉実施は中止。本来4/16実施予定。

豊後高田市：8月24日（月）調査を市内全小中学校実施。自校採点。

【対象】小学校6年生、中学校3年生

【結果】昨年度平均との比較では、中学校数学が下回った。

小学校国語・算数、中学校国語で上回った。

### 2. 大分県学力定着状況調査について⇒県一斉実施は中止。本来4/21実施予定。

県の方針：6月22日～25日の4日間のうち学校が定めた日に実施。

各市町村で臨時休校の状況が異なることにより実施内容は選択制

- 「学習調査」と「質問紙調査」を実施
- 「学習調査」のみ実施
- 「質問紙調査」のみ実施
- 実施できない

左の4つの選択肢から、  
実施方法を市町村が選択する。

豊後高田市：6月24日（水）「学習調査」「質問紙調査」を全小中学校で実施。

【対象】小学校5年生、中学校2年生

小学校5年生対象

学習調査 実施市町村8町村

佐伯市、臼杵市、竹田市、豊後大野市、豊後高田市、日出町  
玖珠町、九重町 ⇒ 86校 1864人

総合質問紙調査 国公立の小学校で実施。（253校 9418人）

【大分合同新聞 令和2年9月12日 記事より】

中学校2年生対象

学習調査 実施市町村9町村

佐伯市、臼杵市、竹田市、豊後大野市、豊後高田市、日出町  
玖珠町、九重町、津久見市 ⇒ 46校 2242人

総合質問紙調査 国公立の中学校で実施。（124校 8962人）

【大分合同新聞 令和2年9月12日 記事より】

【結果】小学校：国語、算数、理科 全教科で県平均・目標値を上回った。

中学校：国語、数学、理科、社会、英語 全教科で県平均、目標値を上回った

# 豊後高田市教育委員会

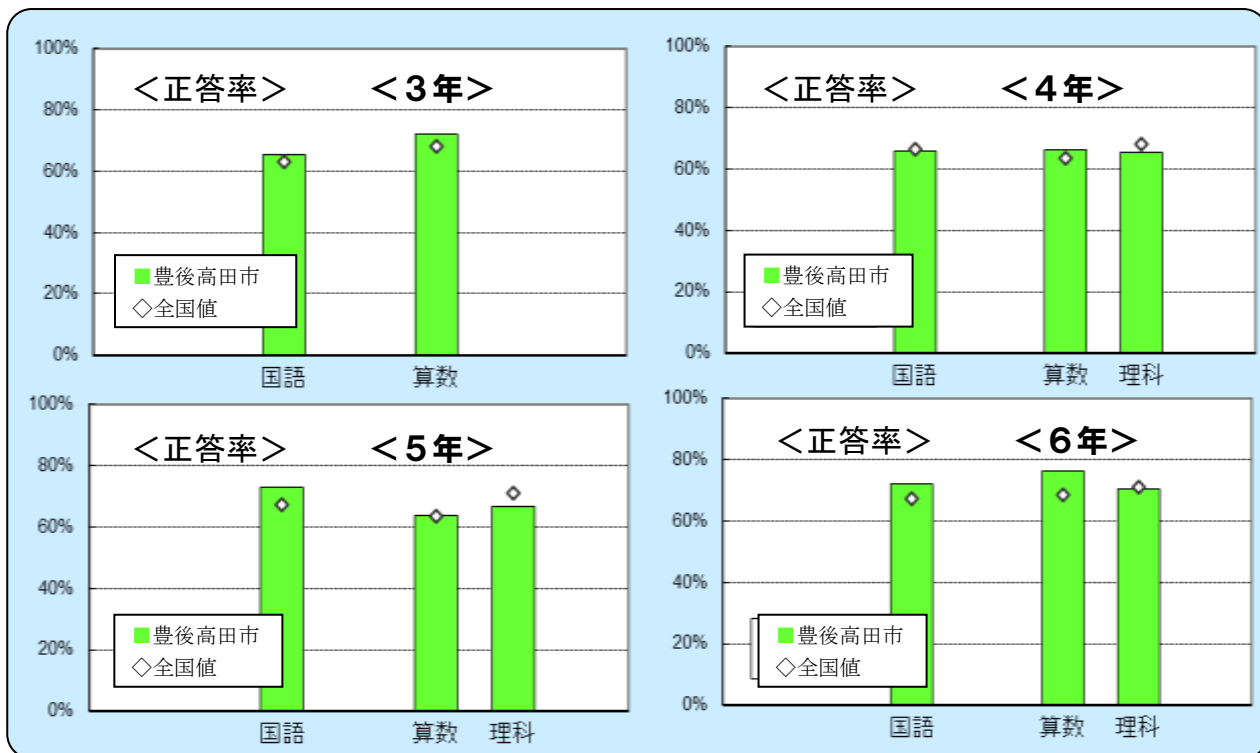
## 1. 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査より <小学校> 伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心

### (1)各学年の結果

学年	教科	目標値	本市の正答率	目標値との差	全国平均	全国平均との差
3年	国語	62.7	65.4	2.7	63.0	2.4
	算数	67.2	71.9	4.7	68.0	3.9
4年	国語	64.8	65.9	1.1	66.5	-0.6
	算数	62.7	66.1	3.4	63.3	2.8
	理科	66.0	65.2	-0.8	68.1	-2.9
5年	国語	66.9	72.8	5.9	67.1	5.7
	算数	63.2	63.8	0.6	63.5	0.3
	理科	68.3	66.7	-1.6	70.9	-4.2
6年	国語	66.2	72.3	6.1	67.1	5.2
	算数	66.4	76.1	9.7	68.5	7.6
	理科	69.2	70.3	1.1	71.2	-0.9

目標値・全国平均との差 +3ポイント以上…■ -2ポイント以下は…■

### (2)本市の学年別・教科ごとの正答率と全国値との比較



◎上記のとおり、3年生から6年生までの国語、算数、理科の3教科（3年生は国語と算数のみ）計11教科のうち、国語、算数に関しては概ね達成できているといえます。

4・5・6年生の理科については課題が残ります。

○次のページから、学年別に概要を説明します。

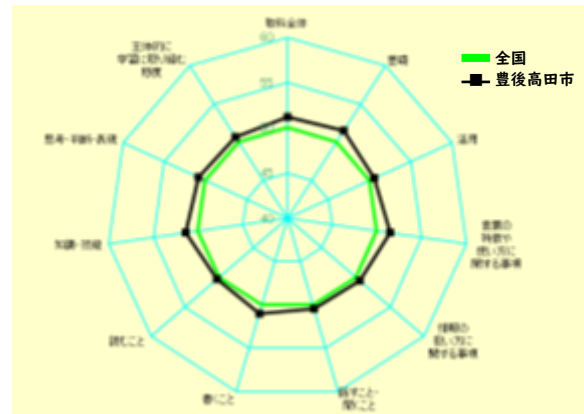
# (3) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果 (3年生)

## 1. 国語

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	62.7	65.4	63.0
	基礎	67.9	71.8	68.9
	活用	52.8	53.3	51.8
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.0	75.6	72.3
	情報の扱い方に関する事項	51.7	52.5	50.4
	話すこと・聞くこと	73.8	73.7	72.7
	書くこと	50.0	50.4	46.6
	読むこと	53.3	54.0	53.2
観点	知識・技能	65.8	70.3	67.2
	思考・判断・表現	57.7	58.0	56.2
	主体的に学習に取り組む態度	55.0	55.8	53.6
解答形式	選択	61.2	63.8	61.2
	短答	72.9	76.9	75.6
	記述	54.2	55.4	52.1

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



すべての分類、区分において目標値も全国平均正答率を上回っており良好です。

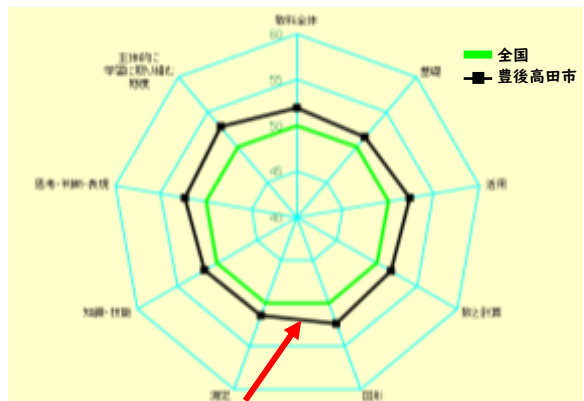
しかしながら、【問題5】の説明文の内容の読み取り(4択)や【問題6】のインタビューの内容を話し合いの様子から読み取ること(記述)に課題があります。文章内容を押さえる取り組みが必要です。無回答が20%ほどありました。

## 2. 算数

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	67.2	71.9	68.0
	基礎	75.3	78.9	76.1
	活用	53.8	60.4	54.6
領域	数と計算	65.7	69.8	66.2
	図形	68.3	77.7	70.2
	測定	70.6	75.4	71.9
観点	知識・技能	72.7	77.0	73.9
	思考・判断・表現	50.6	56.7	50.4
	主体的に学習に取り組む態度	57.8	65.2	57.7
解答形式	選択	67.9	73.0	69.7
	短答	71.9	74.9	71.7
	記述	30.0	43.5	29.4

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上

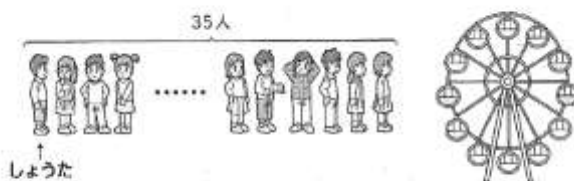


すべての分類、区分において目標値も全国平均正答率を上回っており良好です。

中でも、記述式の問題(左下の(2))については、正答率が43%であるものの(活用)良好です。

### 3年生算数の問題 17 (2)

(2) しょうたさんのクラスは、35人全員でかかんらん車に乗ることにしました。しょうたさんは、いちばん後ろにならんでいます。



このかかんらん車は、1台に4人ずつ乗ることができます。前から4人ずつ乗ると、しょうたさんは何台目に乗ることができますか。また、そのもとめ方を、言葉や数、式を使って書きましょう。

(2)の問題は目標値 30.0% 全国正答率 28.9%ですが、本市は43.2%の正答率でした。素晴らしい状況です。

(答え) 9台目

(求め方)

(例)  $35 \div 4 = 8$  あまり 3

8台だと、あまりの3人が乗れないので、 $8 + 1 = 9$ で、9台目に乗ることができます。

このように、答え、その求め方を言葉や数、式を使って説明する力が必要となります。

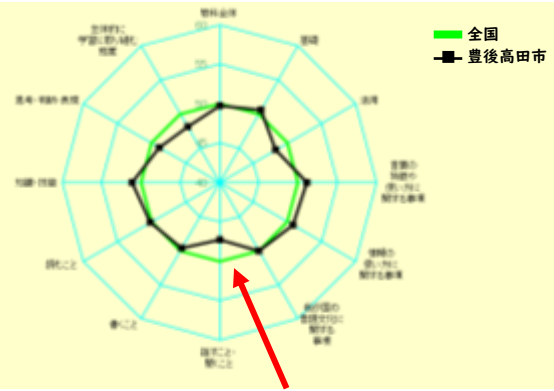
# (4) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果（4年生）

## 1. 国語

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	64.8	65.9	66.5
	基礎	68.9	70.8	69.8
	活用	55.6	54.8	59.2
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.0	78.8	76.5
	情報の扱い方に関する事項	50.0	54.6	52.5
	我が国の言語文化に関する事項	85.0	89.0	88.8
	話すこと・聞くこと	59.0	55.8	62.5
	書くこと	56.3	54.8	56.4
	読むこと	55.0	54.0	53.7
観点	知識・技能	68.3	73.0	70.9
	思考・判断・表現	56.7	54.8	57.4
	主体的に学習に取り組む態度	49.0	44.3	50.4
解答形式	選択	64.6	65.6	65.9
	短答	78.6	83.0	81.3
	記述	49.2	46.6	50.7

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



基礎は全国平均を超えているものの、活用(記述)に関しては課題が残ります。

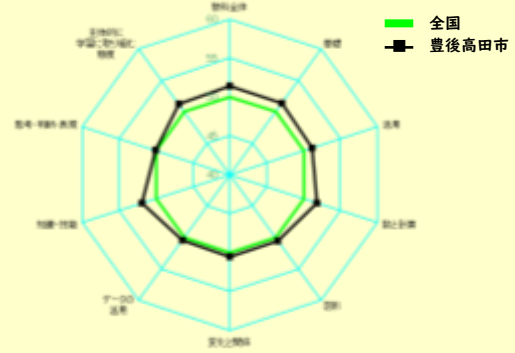
中でも、「話すこと・聞くこと」、「主体的に学習に取り組む態度」については、記述の仕方を指定されたことに基づいて説明する力が求められています。【問6】の新聞紙の効果と活用法について、説明する場を設けるとよいと思います。

## 2. 算数

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	62.7	66.1	63.3
	基礎	68.6	72.1	69.4
	活用	51.4	54.8	51.7
領域	数と計算	67.6	71.4	67.8
	図形	60.8	63.3	62.0
	変化と関係	63.3	70.5	68.6
	データの活用	41.3	41.8	40.2
観点	知識・技能	68.2	72.9	69.0
	思考・判断・表現	50.5	51.2	50.9
	主体的に学習に取り組む態度	45.0	48.4	44.9
解答形式	選択	64.2	68.3	65.9
	短答	65.9	68.8	65.3
	記述	30.0	30.3	27.7

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



すべての分類、区分において目標値と全国平均正答率を上回り、定着しているといえます。

問題16は、ひし形を書く時に3つの特徴のうち、どの特徴を用いたかを問う問題です。問いの意味が理解できなかった可能性があります。

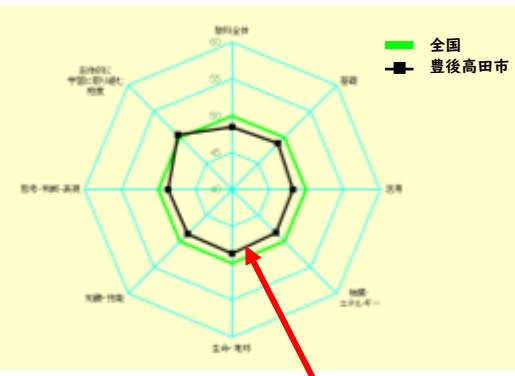
目標値 55.0%、市 42.2%。

## 3. 理科

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	66.0	65.2	68.1
	基礎	68.8	69.2	71.3
	活用	59.4	56.1	60.4
領域	物質・エネルギー	64.4	61.0	65.0
	生命・地球	66.7	67.1	69.4
観点	知識・技能	69.8	69.2	72.0
	思考・判断・表現	58.5	57.4	60.2
	主体的に学習に取り組む態度	35.0	33.8	32.4
解答形式	選択	67.6	67.5	69.7
	短答	70.0	67.4	73.4
	記述	35.0	33.8	32.4

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



解答形式の記述式問題以外は、目標値も全国平均正答率以下となっており、課題が残っています。

ヘチマの茎の伸び方、1日の気温の変化、月の動き、水のしみこみ方等の観察の技能が定着が不十分です。実体験(観察)が不足していると思われます。

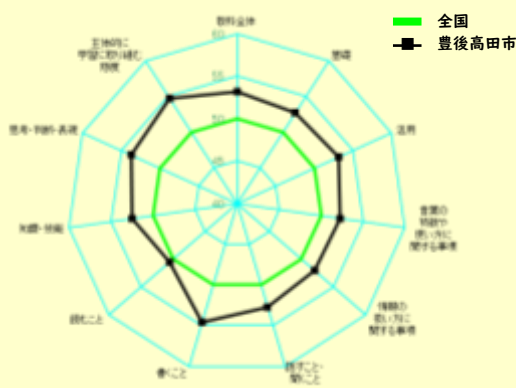
# (5) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果（5年生）

## 1. 国語

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	66.9	72.8	67.1
	基礎	72.2	76.8	72.1
	活用	55.0	63.7	55.9
領域	言葉の特徴や使いに関する事項	67.9	73.3	68.7
	情報の扱い方に関する事項	42.5	44.0	37.0
	話すこと・聞くこと	66.7	78.0	70.8
	書くこと	69.2	80.7	66.4
	読むこと	64.2	64.4	63.2
観点	知識・技能	64.3	69.1	64.2
	思考・判断・表現	66.7	73.7	66.0
	主体的に学習に取り組む態度	63.0	76.9	62.7
解答形式	選択	68.3	72.2	68.7
	短答	66.3	68.6	67.0
	記述	65.0	79.4	64.0

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



すべての分類、区分において目標値及び全国平均正答率を上回り、定着しているといえます。

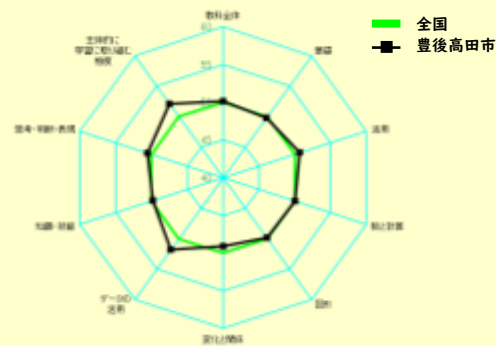
ただ、漢字の書き取りでは「梅」目標値 50.0%、本市 44.7%。文章から内容のイメージを想像することが十分ではなく、会話文と人物の行動とを関連させることができなかつたと考えられます。目標値 85%、本市 78.0%。

## 2. 算数

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	63.2	63.8	63.5
	基礎	67.9	68.6	69.0
	活用	50.6	50.9	49.1
領域	数と計算	67.3	68.4	68.3
	図形	63.6	64.6	65.0
	変化と関係	66.7	66.9	69.8
	データの活用	31.7	27.9	22.5
観点	知識・技能	68.6	70.2	70.5
	思考・判断・表現	53.8	52.6	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	52.1	56.0	50.3
解答形式	選択	65.3	64.8	66.8
	短答	63.8	66.0	63.6
	記述	40.0	40.8	33.6

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



すべての分類、区分において目標値及び全国平均の力がついています。ただ、記述式問題の読み取りと記述に課題があります。【問19】の(2)は記述式の問題でした。

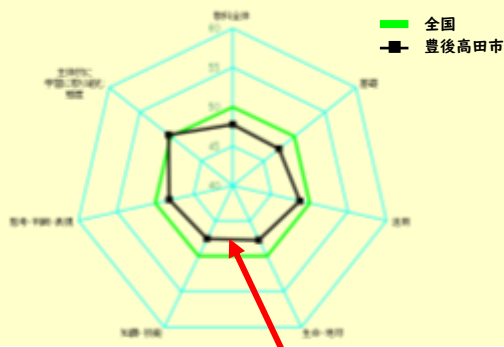
解答例（問題省略）は、答え）およそ5分50秒1人が買うのに  $140 \div 4 = 35$  35秒かかります。だいきさんは10番目だから  $35 \times 10 = 350$  およそ5分50秒かかります。という記述が必要です。目標値 30%、本市 18.4%

## 3. 理科

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	68.3	66.7	70.9
	基礎	70.9	68.8	73.5
	活用	61.3	60.8	63.8
領域	生命・地球	68.3	66.7	70.9
観点	知識・技能	72.2	70.7	75.4
	思考・判断・表現	63.9	62.0	65.7
	主体的に学習に取り組む態度	62.5	65.6	64.6
解答形式	選択	71.5	69.4	74.5
	短答	65.0	63.4	67.0
	記述	55.0	56.3	56.2

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



ほとんどの分類、区分で目標値、全国平均をやや下回りました。

特に、雲の量、顕微鏡の倍率の求め方、川の流れ等観察に関する項目の定着が不十分でした。

4・5月の実施内容でしたので十分観察の機会を確保することが困難であったことが考えられます。



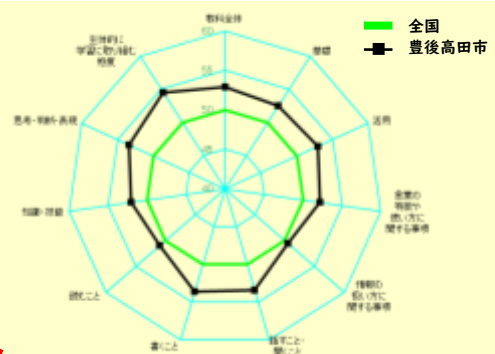
# (6) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果（6年生）

## 1. 国語

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	66.2	72.3	67.1
	基礎	71.9	79.0	74.4
	活用	57.0	61.5	55.5
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	65.8	71.5	67.1
	情報の扱い方に関する事項	45.0	47.4	45.5
	話すこと・聞くこと	66.7	75.1	68.5
	書くこと	67.5	75.9	64.7
	読むこと	66.7	71.9	69.4
観点	知識・技能	62.9	68.0	64.0
	思考・判断・表現	67.0	74.1	67.3
	主体的に学習に取り組む態度	56.0	63.9	50.5
解答形式	選択	67.1	72.9	70.0
	短答	70.0	74.1	72.9
	記述	59.2	68.4	53.7

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



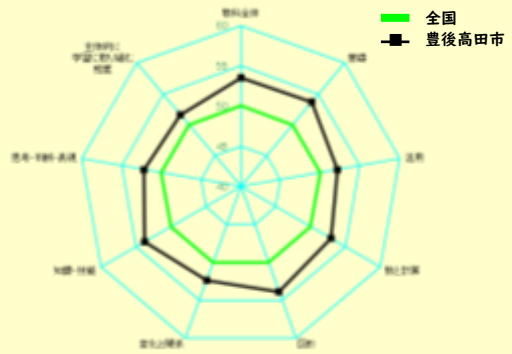
すべての分類、区分で目標値、全国平均正答率を大きく上回り、定着しているといえます。  
 ただ、尊敬語については、目標値 50%、本市 44.8%であるものの、「うかがいたい、◎おっしゃって、～です、～でございます」のうちから尊敬語を選ぶものであり、選択が分かれました。定着が不十分と考えられます。

## 2. 算数

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	66.4	76.1	68.5
	基礎	70.7	81.0	72.8
	活用	55.6	63.5	57.4
領域	数と計算	69.3	77.6	70.9
	図形	63.9	76.3	66.9
観点	変化と関係	47.5	58.9	50.2
	知識・技能	69.6	80.0	71.9
	思考・判断・表現	56.9	64.2	58.1
解答形式	主体的に学習に取り組む態度	53.3	60.2	55.2
	選択	62.9	71.6	66.0
	短答	72.8	83.9	74.2
記述	40.0	44.5	39.8	

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



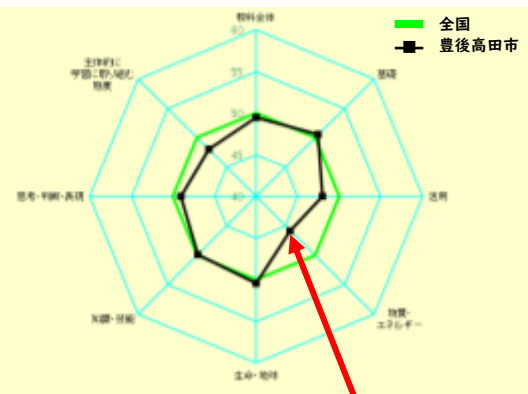
すべての分類、区分で目標値及び全国平均正答率を大きく超えています。  
 問16は縮図を使って、体育館の高さを求める問題ですが、高さとその求め方を言葉や数、式を使って説明する力が求められています。説明する力を身に付ける必要があります。目標値 30.0%、全国 24.8%、本市 33.3%。

## 3. 理科

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	69.2	70.3	71.2
	基礎	71.1	75.4	74.5
	活用	65.9	61.6	65.5
領域	物質・エネルギー	63.8	53.0	64.5
	生命・地球	70.0	73.0	72.2
観点	知識・技能	70.0	72.4	72.6
	思考・判断・表現	68.1	67.6	69.3
	主体的に学習に取り組む態度	65.0	61.7	67.0
解答形式	選択	70.0	70.8	71.6
	短答	72.0	77.4	76.1
	記述	52.5	47.7	54.2

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



活用力に課題があります。  
 問7の月の動きの(4)で、満月を午後4時に観察するとどのように見えるかという問いで、目標値 40.0%、全国平均正答率 13.4%のところ、本市は 10.3%でした。授業において、定着できるよう指導法の工夫が必要と考えます。

2. 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査より <中学校>

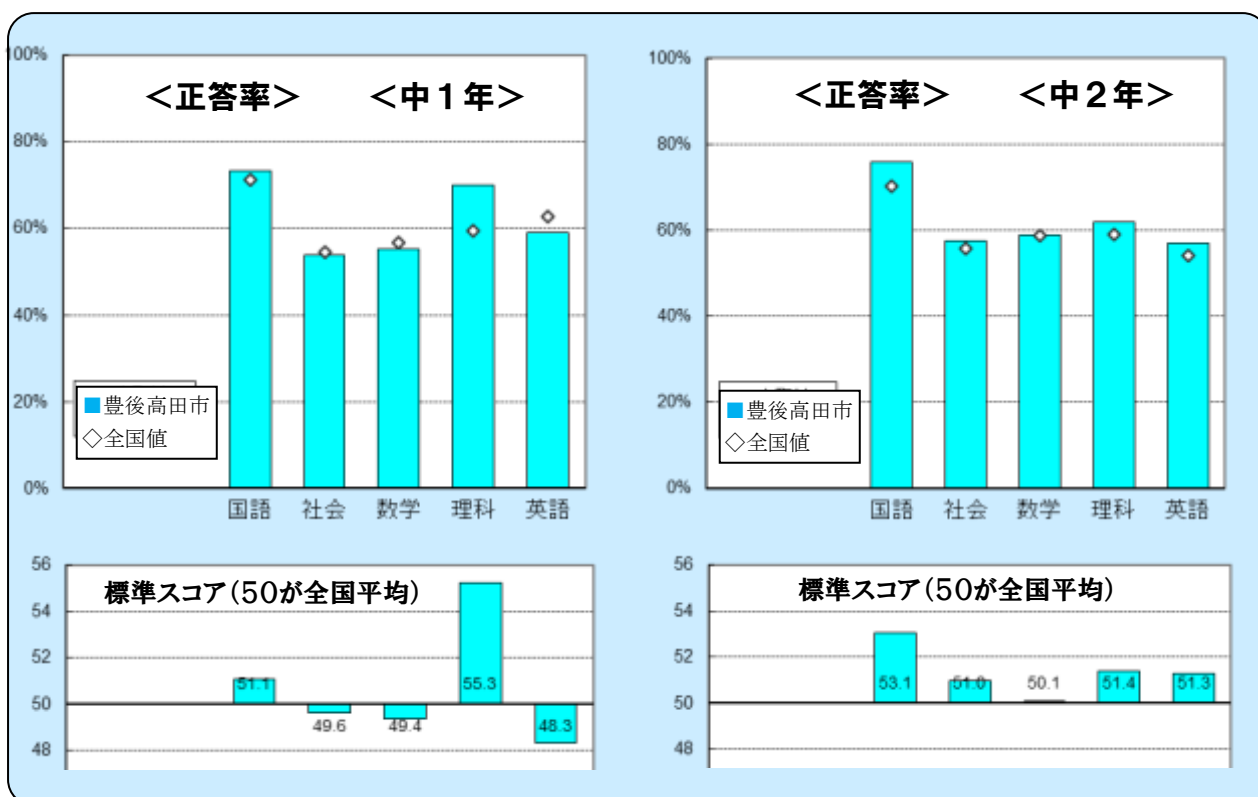
# 伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心

(1)各学年の結果

学年	教科	目標値	本市の正答率	目標値との差	全国平均	全国平均との差
1年	国語	68.2	73.3	5.1	71.3	2.0
	社会	54.3	53.8	-0.5	54.5	-0.7
	数学	59.1	55.3	-3.8	56.6	-1.3
	理科	58.7	70.0	11.3	58.7	11.3
	英語	61.3	59.0	-2.3	62.6	-3.6
2年	国語	67.4	75.8	8.4	70.4	5.4
	社会	55.3	57.7	2.4	55.7	2.0
	数学	58.8	59.0	0.2	58.8	0.2
	理科	56.6	62.1	5.5	55.9	6.2
	英語	55.0	57.2	2.2	54.3	2.9

目標値・全国平均との差 +3ポイント以上…■ -2ポイント以下は…■

(2) 本市の学年別・教科ごとの正答率と全国値との比較



◎上記のとおり、中1年の国語、理科は目標値を超えているものの、社会、数学、英語については、目標値を下回っており、課題が残っています。  
 中2の国語、社会、数学、理科、英語の全てにわたって、目標値や全国平均を越えており、おおむね習得できていると思います。

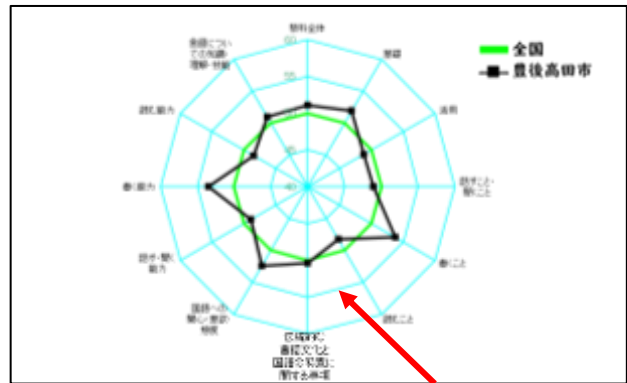
# (3) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果 (中1)

## 1. 国語

### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	68.2	73.3	71.3
	基礎	71.7	78.3	74.7
	活用	56.4	56.3	59.4
領域	話すこと・聞くこと	76.3	76.1	78.6
	書くこと	60.0	72.4	60.7
	読むこと	65.7	64.7	69.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.5	78.0	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度	71.1	78.9	72.6
	話す・聞く能力	76.3	76.1	78.6
	書く能力	60.0	71.4	60.7
	読む能力	62.9	61.9	65.6
	言語についての知識・理解・技能	71.6	78.2	76.3
解答形式	選択	67.1	66.9	69.8
	短答	72.1	77.3	76.5
	記述	63.6	77.4	64.8

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



教科全体としては定着していると思われていますが、領域の区分別観点では課題があります。

中でも、「書くこと」は定着していますが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「記述」に課題が残っています。

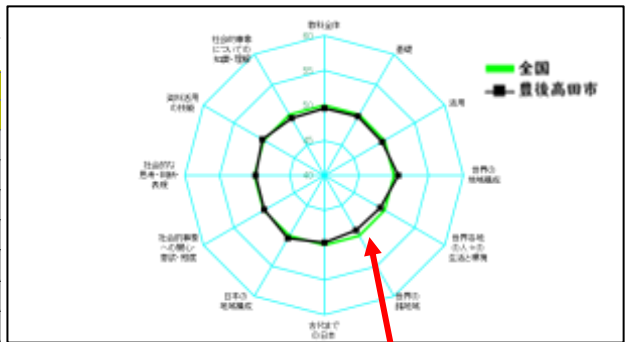
問題⑤(1)の「登場人物の心情をとらえる」については、目標値 65.0%、全国平均 62.5%、本市 69.5%です。文章から心情を捉える言葉に着目できるような支援が必要です。

## 2. 社会

### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	54.3	53.8	54.5
	基礎	58.5	57.9	58.6
	活用	38.3	37.9	38.9
領域	世界の地域構成	66.7	69.5	67.4
	世界各地の人々の生活と環境	48.3	45.1	47.3
	世界の諸地域	48.8	44.4	47.4
	古代までの日本	55.9	55.7	56.5
	日本の地域構成	46.7	48.8	47.4
観点	社会的現象への関心・意欲・態度	44.4	44.7	44.9
	社会的な思考・判断・表現	47.5	47.8	48.1
	資料活用スキル	51.5	52.0	51.5
	社会的現象についての知識・理解	56.3	55.3	56.4
解答形式	選択	54.5	54.5	54.6
	短答	58.6	56.5	58.1
	記述	37.5	37.5	41.2

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



教科全体、基礎、活用の面では目標値や全国平均を若干下回っていますが、ほぼ定着できている状況です。

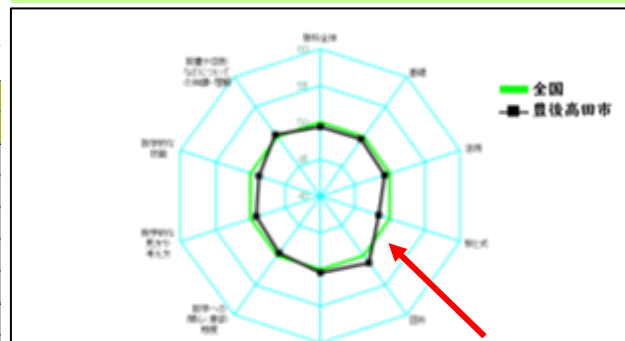
世界各地の人々の生活と環境、地理的な特徴と文化の発展など関連付けること、資料を活用する技能を身に付けることが求められています。資料から、必要な情報を選び、情報と情報を関係づけて考える力をつけていく必要があります。

## 3. 数学

### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	59.1	55.3	56.6
	基礎	65.4	63.1	64.2
	活用	41.7	33.7	35.7
領域	数と式	60.3	54.9	58.4
	図形	75.0	74.2	70.7
	関数	50.5	48.7	47.5
観点	数学への関心・意欲・態度	43.2	36.9	38.0
	数学的な見方や考え方	42.2	35.6	37.8
	数学的な技能	57.7	53.0	55.8
	数量や図形などについての知識・理解	66.0	64.4	63.6
解答形式	選択	61.7	58.8	60.1
	短答	58.9	53.6	55.6
	記述	37.5	36.0	33.0

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



教科全体、基礎、活用において目標値、全国平均正答率を下回っており、課題が残ります。

特に、一次方程式の  $3x+1=9x-3$  を解く問題では、目標値 55.0%のところ本市は 24.4%でした。また、 $a \times a - b \div 2$  の文字式の表し方も理解が不十分です。文字式の考え方を指導する必要があります。まずは、基礎の力を付けていく必要があります。

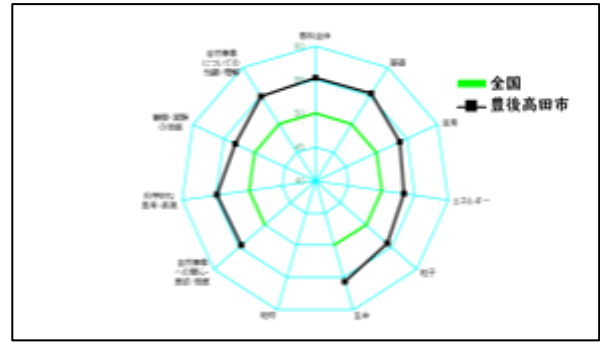
# (4) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果 (中1)

## 4. 理科

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	59.8	70.0	59.6
	基礎	63.4	76.0	65.2
	活用	51.3	55.6	46.2
領域	エネルギー	50.0	50.8	41.6
	粒子	57.5	67.2	57.5
	生命	64.6	77.5	66.1
	地球			
観点	自然事象への関心・意欲・態度	53.3	61.6	51.8
	科学的な思考・表現	55.5	63.9	53.5
	観察・実験の技能	70.0	82.0	74.3
	自然事象についての知識・理解	62.1	74.2	62.9
解答形式	選択	62.0	74.0	63.2
	短答	56.7	70.1	57.3
	記述	40.0	25.0	21.6

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



すべての分類、区分で目標値及び全国平均正答率を大きく超えており、素晴らしい定着状況と言えます。

記述式問題で目標値 40.0%のところ本市が25.0%で正答率を下回っています。例えばアンモニアを水上置換報で集められない理由を説明する問題に、「水に溶けやすい」から「上方置換法」で集めるということ必要な情報を過不足なく入れて説明することが難しかったようです。

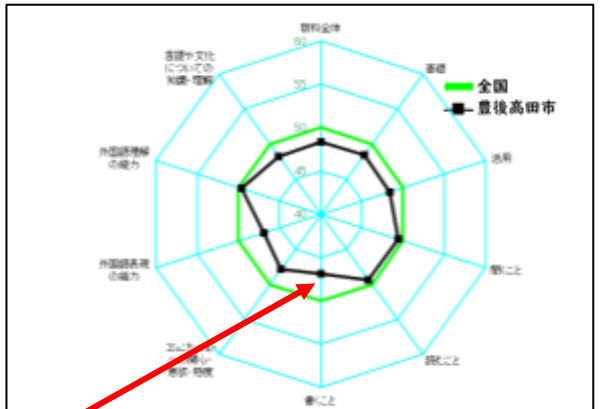
説明する機能を授業設定する必要があります。

## 5. 英語

### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	61.3	59.0	62.6
	基礎	66.5	63.7	67.0
	活用	51.8	50.4	54.5
領域	聞くこと	70.0	70.5	71.7
	読むこと	58.9	57.7	59.2
	書くこと	57.2	50.7	59.8
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	65.0	63.4	68.3
	外国語表現の能力	54.1	48.8	57.8
	外国語理解の能力	62.2	62.5	63.4
	言語や文化についての知識・理解	62.0	56.6	61.1
解答形式	選択	66.0	65.4	66.5
	短答	52.0	44.5	50.7
	記述	53.3	49.6	59.4

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



教科全体、基礎、活用において目標値、全国平均正答値を大きく下回っており、課題が残ります。

特に「書くこと」については、

問題8 対話文が意味の通る文になるように ( ) 内の語を正しく並びかえて書きなさい。

(3) A: What is that?

B: (my / it / father's / is) sensu.

C: It's interesting.

⇒ It's is my father's 目標値 55.0% 本市 37.8%

問題9 対話が成り立つように、それぞれ ( ) に入る適切な英文を3語以上の1文で書きなさい。

(1) 〈街中で〉

Lucy: ( ) ?

Naoki: It's twelve thirty.

Lucy: Let's eat lunch, Naoki.

Naoki: OK. Let's go.

⇒ What time is it (now)? 目標値 40.0% 本市 28.4%

英文を正しい語順で書くこと、対話の流れに英文を書くこと力が必要になります。

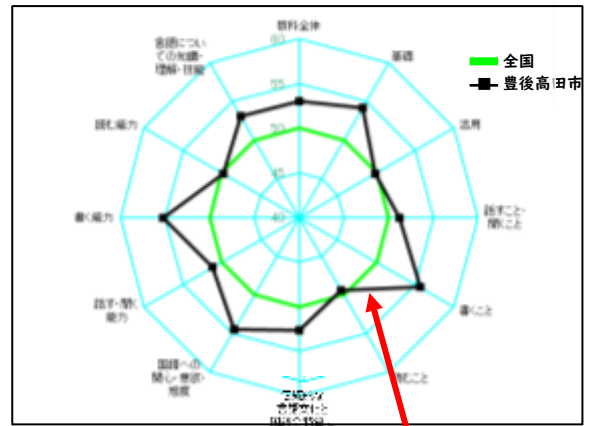
# (5) 令和2年度 豊後高田市学力定着状況調査結果 (中2)

## 1. 国語

### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	67.4	75.8	70.4
	基礎	69.6	79.6	72.6
	活用	59.3	62.0	62.4
領域	話すこと・聞くこと	63.6	70.4	67.8
	書くこと	62.0	86.0	63.5
	読むこと	61.3	61.4	62.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.4	83.7	79.1
観点	国語への関心・意欲・態度	64.4	77.9	67.2
	話す・聞く能力	63.6	70.4	67.8
	書く能力	59.2	78.8	60.1
	読む能力	60.3	61.6	62.2
解答形式	言語についての知識・理解・技能	74.8	84.0	78.6
	選択	63.6	67.9	67.0
	短答	77.9	86.4	81.8
	記述	57.1	73.8	57.8

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



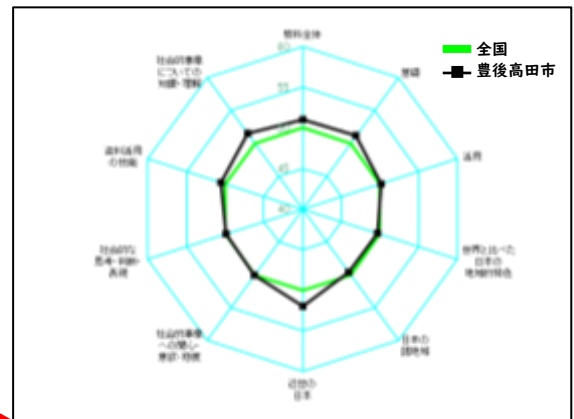
教科全体、基礎、活用とも目標値を超えており、定着しています。  
特に、「書くこと」については、素晴らしい成果と言えます。  
「読むこと」については、東京大学コレフと連携した「協調学習」の成果がでていると思われます。

## 2. 社会

### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	55.3	57.7	55.7
	基礎	57.1	58.8	56.5
	活用	48.3	53.1	52.9
領域	世界と比べた日本の地域的特色	65.8	67.2	68.1
	日本の諸地域	55.7	55.1	56.1
	近世の日本	51.5	55.4	51.2
観点	社会的現象への関心・意欲・態度	48.3	53.1	52.9
	社会的な思考・判断・表現	53.0	54.6	54.9
	資料活用 of 技能	55.4	57.8	56.6
	社会的現象についての知識・理解	54.5	57.3	54.2
解答形式	選択	59.3	61.0	60.8
	短答	45.0	54.2	40.6
	記述	38.3	37.0	37.2

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上

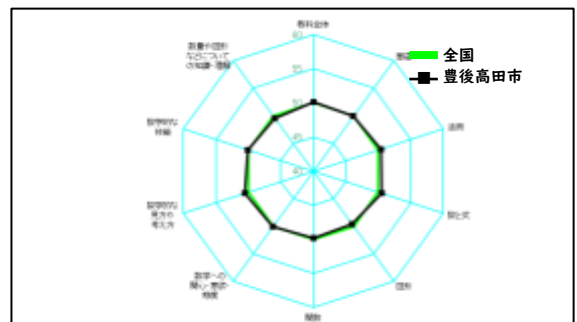


教科全体、基礎、活用とも目標値や全国平均正答率を超えており、定着していると言えます。  
「近世の日本」の状況や「社会的現象についての知識・理解」は理解度が高いです。  
時代の背景や世界の国々との関連を理解することができたによるものと考えます。

## 3. 数学

### ★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	58.8	59.0	58.8
	基礎	62.5	63.1	63.2
	活用	47.5	46.6	45.4
領域	数と式	59.3	60.2	58.6
	図形	64.3	65.9	67.2
	関数	54.5	53.1	53.6
観点	数学への関心・意欲・態度	52.1	51.2	51.0
	数学的な見方や考え方	48.5	49.3	47.7
	数学的な技能	63.3	63.4	63.2
	数量や図形などについての知識・理解	60.0	59.9	60.9
解答形式	選択	58.3	58.2	58.8
	短答	61.8	61.7	61.8
	記述	43.3	47.0	41.5



教科全体、基礎、活用とも目標値や全国平均正答率と同等の力がついています。  
ただ、文章問題を解くために、連立方程式を利用して解くこと、一次関数の式からの作図することに課題があります。

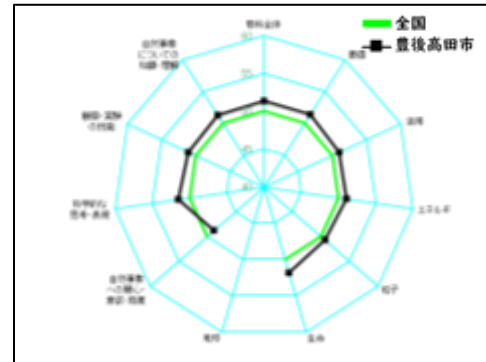
## (6) 令和元2度 豊後高田市学力定着状況調査結果 (中2)

### 4. 理科

#### ★カテゴリー別正答率

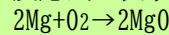
分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	59.3	62.1	59.0
	基礎	59.3	61.3	58.1
	活用	59.2	64.9	62.4
領域	エネルギー	58.3	60.9	57.7
	粒子	57.5	56.5	54.8
	生命	61.3	67.9	63.6
	地球			
観点	自然現象への関心・意欲・態度	58.3	54.6	57.8
	科学的な思考・表現	58.4	63.9	60.2
	観察・実験の技能	53.3	49.4	46.2
	自然現象についての知識・理解	60.0	63.0	59.9
解答形式	選択	62.9	65.8	65.0
	短答	56.3	59.2	51.9
	記述	40.0	41.3	36.7

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



領域別では、エネルギー、生命についての定着状況は良好です。

しかしながら、粒子の領域では、化学変化と物質の質量の分野での定着状況に課題があります。マグネシウムの質量と加熱後の質量の関係、マグネシウムの酸化を化学反応式に表すことに課題があります。

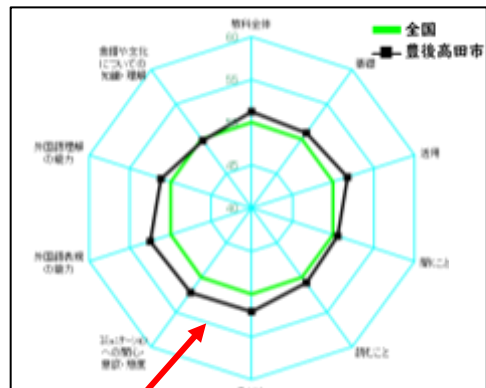


### 5. 英語

#### ★カテゴリー別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率	
			市町村	全国
基礎・活用	教科全体	55.0	57.2	54.3
	基礎	59.3	60.6	58.8
	活用	47.9	51.4	46.8
領域	聞くこと	64.4	67.3	66.3
	読むこと	55.4	55.8	53.8
	書くこと	45.0	49.0	42.9
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	56.8	62.2	57.7
	外国語表現の能力	43.4	49.2	42.0
	外国語理解の能力	58.8	61.7	59.0
	言語や文化についての知識・理解	54.5	51.5	52.2
解答形式	選択	61.0	62.2	60.8
	短答	46.0	43.8	43.1
	記述	41.7	50.6	40.9

■…全国値比較+3点以上 ■…全国値比較-2点以上



教科全体、基礎、活用とも目標値、全国平均正答率を超えており、定着しています。

特に、「活用力」については、目標値等を大きく超えており指導が行き届いていると評価できます。

1年生と同様に、英作文に課題が残っています。

問題9 対話文が意味の通る文になるように、( )内の語(句)を正しく並べかえて書きなさい。

(4) A: Do you have homework today?

B: Yes. I (homework/have/to/a lot of) do this afternoon.

⇒ have a lot of homework to 目標値 40.0% 本市 27.6%

問題10 次の(1)と(2)の対話が成り立つように、それぞれ( )に入る適切な英文を3語以上の1文で書きなさい。

(2) (教室で)

Satomi: I was looking for you, Lucy.

Lucy: Oh, I'm sorry. I was in the school library.

Satomi: ( )?

Lucy: I was reading a book about science.

⇒ What were you doing (there?) 目標値 25% 本市 16.3%

# (7) 豊後高田市の学力向上に関する改善策 本時案

## 豊後高田方式の本時案

- ① 本市では、学力向上は日頃の授業改善が基本であるとの認識の下、「新大分スタンダード」を基本に置き、下記に示す豊後高田方式の本時案記入のポイントを参考にして、授業改善を図ります。
- ② 思考力・判断力・表現力を向上させるために、発表の機会があれば、「暗記のすすめ学」（次ページ）を基にした指導を行い、自信をつけさせます。
- ③ 教育・指導の基本は教師の人間性と子どもとの温かな信頼関係であることを認識して指導します。

### 本時略案作成のポイント

学年	教科	指導者	単元名OR題材名	時数
<p>「C目的（身に付けさせたい力など）」と「B手立て（中心となる学習活動）」を明らかにして設定する</p> <p>A 学習内容（～を、～について） B 学習活動（○○を通して、○○でまとめて、○○と比べて等）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較する</li><li>・関連づける</li><li>・分類する</li><li>・要約する</li><li>・理由づける</li><li>・具体化する</li><li>・推測する</li><li>・見通す</li><li>・思考する</li><li>・構造化する など</li> </ul> </div> <p>C 育成する資質・能力・関心態度（△△できるようにする、△△に気付くようにする、△△を高める等）</p>				
学習指導要領における領域・内容			学習指導要領のどの事項かを明記 → 付けたい力の明確化 ○ できるようになることは何？ ○ 期待する発言内容は？ ○ 期待する記述内容は？	
本時の評価規準（評価の観点） ＜評価方法＞		だれが見ても評価できる（BとCの区別ができる）      本時のゴールの子どもの姿を具体的に！		
展開	学習活動	指導の手立て		
【めあて】 ↓ <課題> ↓ <まとめ> ↓ 【振り返り】	導入 ↓ 展開 ↓ 終末	「ねらい」を児童生徒の立場で示したもの。 「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を示す。 ※ 学習の <b>見通し</b> がもてる・意欲を高めるものになるよう工夫		
		【その時間に解決すべき事柄】 「なぜ、～なのか」「～することはできるだろうか」「どうしたら～できるか」など疑問形で示す 【課題設定のポイント】 ① 既習事項や既有事項とのズレがある ② 意見の対立・拮抗が生じる ③ 目標達成のために超えなければならないハードルがある ④ 素朴な驚きや疑問、憧れから問題意識が醸成される 等の要素があるもの		
		授業中に行える C の状況にある児童生徒への指導支援の手立てを考え、位置付ける。 ※ 特別支援教育の視点から習熟の程度を把握し、改善策を検討（授業後 検討）		
		本時の課題に対する【答え・結論】		
		○教科の特性・単元の展開・本時のねらい等に応じて、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を適切に設定する。 ○「付けたい力」を付けるために <b>必要な活動を設定をする！</b> ○「型」ありきではない！ ○「めあて」「振り返り」は、 ・学習者が見通しをもち、学習の成果を実感するためのもの。 ・授業者が、付けたい力を明確にして、学習者全員に力を付けるためのもの。 ・授業者が学習者による振り返りをもとに、授業改善へつなぐもの。		
		視点を設定【 ノートに書く、ペアで伝え合う 等やり方を工夫し 毎時間行う 】 学習者自身が <b>学びの成果を実感し</b> 、意欲や問題意識等を次につなげていく。 ※わかったこと、分からなかったこと、新たな疑問 等 ※本時のキーワードや学習用語を用いる等の条件設定をする等の工夫をする。		

## 「暗記のすすめ学」

これからの社会において必要とされる、思考力、判断力、表現力の基礎となる資質・能力のひとつに、「覚えること」「記憶すること」「暗記すること」があります。

豊後高田市では、これを「暗記のすすめ学」として教育の根底に位置づける取組をしています。

### 《暗記のすすめ学（考えて、記憶して、発表する）》

豊後高田市には、都甲の「戴星堂」や草地の「涵養舎」をはじめとして、寺子屋がたくさん設立され、庶民教育が行われていました。そして、そこでは、先生の指導のもと「読み、書き、そろばん」、史記、四書五経等の学習が行われていました。教授法は様々ありましたが、「教育は覚えること」が基本でした。

「覚えること」や「記憶すること」「暗記すること」はとても重要な学習です。思考力・判断力・表現力の基礎となるものでもあります。

さらに、みんなの前で発表するとなると、考えがまとまっている必要があります。趣旨を的確にとらえ、論理的で分かりやすい表現で考えをまとめなければなりません。文章の構成を組み立て、一文一文を考えに考え抜かねばなりません。まさに、アクティブ・ラーニングです。これを豊後高田市では、「暗記のすすめ学」としています。

そこで、豊後高田市では、あらゆる発表時に、下記のような指導します。

- (1) 人前で話をするときは、自分の言葉で分かりやすくまとめよう。
- (2) 聞いてくださる相手に感謝の気持ちを込めて話すために、原稿を暗記するのは当たり前、さらに、どのようにしたら覚えることができるか考えよう。
- (3) 聞いてくれる相手にどのようにしたら考えを伝えることができるか考えよう。

発言や発表の機会はたくさんあります。日々の授業、学級会活動、学校行事での発言やあいさつにはじまり、入学式、運動会、学習発表会等の活動、そして、市町村間の交流会、県段階の発表会に至るまで、発言や発表の機会はたくさんあります。それらを絶好の発表の機会、発表の場、考える場として、最大限活用させたいと考えています。

これまでに、対外的な交流会や発表会で豊後高田市の子どもたちの素晴らしい「実践発表」や「あいさつ」等が見られ、感動的な行事の創造ができました。

かつて、香々地公民館で開催された「おおいた教育の日」推進大会では、エッセー入賞者による受賞作品朗読や学習成果発表、そして、実践の発表がありました。

そして、隔年に開催される島原市小学校児童会交流会では、心温まる歓迎の言葉や豊後高田市の紹介や各学校の紹介等々、聞く人を感動させる場面がたくさんありました。

それも大きなステージでたくさんの聴衆を前にしての発表で、たいへん緊張する場面でした。その機会をしっかりとらえ、大きな成果を残しました。

今や「暗記のすすめ学」は豊後高田市の教育の特徴になっています。これからも、豊後高田市の財産として、指導し続けたいと考えています。





## 令和2年度大分県児童生徒の体力・運動能力等調査

### 運動の機会や愛好度等に関する項目

質問内容	選択肢	小5 男子			小5 女子			中2 男子			中2 女子		
		豊高市	県	県との差	豊高市	県	県との差	豊高市	県	県との差	豊高市	県	県との差
①運動部や地域スポーツクラブへの所属状況	1. はいっている	78%	68%	10%	38%	44%	-6%	89%	84%	5%	67%	62%	5%
	2. はいっていない	22%	32%	-10%	63%	56%	7%	11%	16%	-5%	33%	38%	-5%
②運動・スポーツの実施状況 (徒歩通学や外遊びは含むが、学校の体育の授業は含まない)	1. ほとんど毎日(週に3日以上)	84%	75%	9%	75%	68%	7%	89%	85%	4%	89%	80%	9%
	2. 時々(週に1~2日くらい)	12%	18%	-6%	19%	22%	-3%	4%	9%	-5%	9%	11%	-2%
	3. ときたま(月に1~3日くらい)	4%	5%	-1%	3%	8%	-5%	5%	3%	2%	1%	5%	-4%
	4. しない	1%	2%	-1%	3%	2%	1%	1%	3%	-2%	1%	4%	-3%
③1日の運動・スポーツの実施時間 (徒歩通学や外遊びは含むが、学校の体育の授業は含まない)	1. 30分未満	9%	13%	-4%	22%	23%	-1%	6%	9%	-3%	16%	18%	-2%
	2. 30分以上1時間未満	20%	20%	0%	34%	31%	3%	11%	12%	-1%	19%	22%	-3%
	3. 1時間以上2時間未満	28%	27%	1%	20%	24%	-4%	19%	31%	-12%	21%	28%	-7%
	4. 2時間以上	42%	40%	2%	23%	22%	1%	64%	48%	16%	44%	32%	12%
⑩運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか	1. 好き	79%	68%	11%	52%	53%	-1%	62%	64%	-2%	47%	46%	1%
	2. やや好き	21%	21%	0%	36%	27%	9%	21%	25%	-4%	27%	32%	-5%
	3. あまり好きではない	0%	8%	-8%	11%	15%	-4%	11%	8%	3%	21%	16%	5%
	4. きらい	0%	3%	-3%	2%	5%	-3%	6%	3%	3%	4%	6%	-2%
⑪運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは大切だと思いますか	1. とてもそう思う	81%	69%	12%	77%	60%	17%	69%	67%	2%	63%	56%	7%
	2. まあそう思う	17%	26%	-9%	19%	36%	-17%	29%	29%	0%	33%	39%	-6%
	3. あまりそう思わない	2%	3%	-1%	3%	3%	0%	1%	3%	-2%	3%	4%	-1%
	4. まったくそう思わない	0%	2%	-2%	2%	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	0%

※今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は中止、「令和2年度大分県児童生徒の体力・運動能力等調査」については、小学校5年生・中学校2年生のみ生活習慣等に関する調査のみ実施




協議・調整事項

(2) GIGAスクール構想について

## G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



	「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる</li> </ul>	学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる</li> <li>→ 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に</li> </ul> 
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）</li> </ul>	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各人が同時に別々の内容を学習</li> <li>・ 個人個人の学習履歴を記録</li> <li>→ 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能</li> </ul> 
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見を発表する子供に限られる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有</li> <li>・ 子供同士で双方向の意見交換が可能に</li> <li>→ 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる</li> </ul> 

### ICTの活用により充実する学習の例

- ☑ 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ 情報モラル教育 実際に情報・情報技術を活用する場面（収集・発信など）が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加

本市では、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークやすべての普通教室への無線 LAN の構築を今年度中に完了します。

また、端末を家庭へ持ち帰って学習できるように、無線 LAN 環境のない家庭に対して、モバイルルーターを貸与します。さらに、子どもたちが家庭でも自主的に学習でき、学校の授業とも連動させることができるコンテンツ(ドリルパーク)を導入し、基礎基本の定着を図るとともに、主体的に学ぶ力を身に付けさせていきます。

学校現場では、GIGA スクール構想や新学習指導要領の実施、そして新型コロナウイルス感染症防止のため新しい生活様式を取り入れた教育活動など、大きな変化と対応を求められています。「教育のまち」として、個別最適化された学びを継続的に実現させ、子どもたちをだれ一人取り残すことのない教育を推進します。

## 【 ICT 環境整備状況 】

### ・1人1台端末の整備(追加 1,277 台、全 1,706 台)

(高田小学校、桂陽小学校、高田中学校は 3 月下旬配置予定、その他の学校は 12 月に配置済)

### ・全普通教室への無線 LAN の構築

(高田小学校、桂陽小学校、真玉小学校、高田中学校、戴星学園は 3 月下旬完了予定、その他の学校は 11 月に完了)

### ・高速大容量の通信ネットワークの構築

(高田小学校、桂陽小学校、真玉小学校、高田中学校、戴星学園のみ実施、3 月下旬完了予定)

### ・大型モニターの配置(65 型)

(高田小学校 6 台、桂陽小学校 6 台、高田中学校 13 台)

### ・家庭でのオンライン学習環境の整備

(モバイルルータの整備 300 台)

## 協議・調整事項

### (3) 学校施設の長寿命化について

平成30年に策定した豊後高田市学校等長寿命化計画にもとづき、施設の健全及び学校規模等を勘案し、令和元年度に高田小学校教室棟、令和2年度には管理棟等の外壁・屋上防水改修工事を実施しました。

令和3年度には、桂陽小学校教室棟、管理棟外壁・屋上防水改修工事を行い、安心安全な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境へ対応していきます。

① 改修等の優先順位付けと実施計画

■ 個別施設の整備優先順位表

     直近5年間の個別施設の整備

		健全度			
		(低)			(高)
		I (40点未満)	II (41点以上50点未満)	III (50点以上75点未満)	IV (75点以上)
施設重要度	高	香々地中学校・002(31点) 高田小学校・002(34点) 高田小学校・001(31点) 呉崎小学校・009(38点) 草地小学校・010(40点)  (5建物)	桂陽小学校・012(45点) 田染小学校・010(49点)  (2建物)	香々地小学校・003(50点) 桂陽小学校・015(62点) 真玉中学校・001(65点)  (3建物)	臼野小学校・010(75点) 香々地小学校・005(75点) 河内中学校・005(75点) 載星学園・009(75点) 田染中学校・007(75点) 香々地中学校・001(75点) 河内中学校・007(75点) 三浦小学校・001(78点) 夢いろ幼稚園・001(78点) 河内小学校・011(84点) 真玉中学校・003(91点) 三浦小学校・006(93点) 高田中学校・010(93点) 載星学園・001(93点) キラリいろ幼稚園・001(98点) 真玉小学校・001(100点) 夢いろ幼稚園・003(100点)  (17建物)
	中	高田小学校・005(40点) 桂陽小学校・016(38点)  (2建物)	呉崎小学校・010(49点) 河内中学校・006(46点)  (2建物)	草地小学校・011(52点) 載星学園・004(55点) 河内小学校・012(71点)  (3建物)	三浦小学校・002(75点) 高田中学校・014(75点) 載星学園・010(75点) 香々地中学校・003(75点) 田染小学校・013(77点) 香々地小学校・011(77点) 田染中学校・008(77点) 学校給食センター・001(93点) 真玉小学校・002(93点) 臼野小学校・016(93点)  (10建物)
	低	 (0建物)	 (0建物)	 (0建物)	臼野小学校・011(75点):給食室 香々地小学校・009(75点):給食室 香々地中学校・007(75点):柔道場  (3建物)
建物数		7建物	4建物	6建物	30建物 47建物

※ ( ) 内の数値は健全度

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

(5) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価結果

①建物情報（評価結果）一覧表

老朽化状況は、長寿命化計画の対象建物（47棟）に対し、①躯体の健全性調査と②躯体以外の劣化状況調査の2つに分けて把握・評価します。

躯体の健全性は、耐震診断時の既存データから診断を行い、建物ごとの残存耐用年数や耐震診断結果を把握し、具体的な長寿命化計画につなげます。

躯体以外の劣化状況は、現地調査により把握し、劣化度の算定・評価を実施し、劣化優先順位づけや、保全方針、基準の見直し、中長期保全計画につなげます。

- Ⓐ 概ね良好
- Ⓑ 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- Ⓒ 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しがみられる
- Ⓓ 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

表 建物情報一覧表

■: 築30年以上 基準年度: 2017年

通し番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	築年数	構造躯体の健全性			耐震診断など実施状況				劣化状況評価						改修履歴
				学校種別	建物用途					調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分	耐震診断	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	Is値	GT・SD値	屋根・外壁	仕内上部	設備電気	機械設備	健全度(100点満点)		
1	高田小学校	管理、特別教室棟	002	小学校	校舎	RC	3	1,645	43	H17	13.5	長寿命	第2次診断	14	0.72	0.75	B	D	C	C	C	34	H21(H22へ繰越)耐震補強、H21大改(トイレ)、H24大改(法令等)、H28大改(空調)H22、校舎(管理棟・渡り廊下)耐震補強工事・改修工事
2	高田小学校	教室棟	001	小学校	校舎	RC	3	1,833	45	H17	17.6	長寿命	第2次診断	18	0.76	0.80	C	D	C	C	C	31	H21耐震補強、H21大改(トイレ)、H25石綿対策(封じ込め工事)、H24大改(法令等)、H28大改(空調)
3	高田小学校	屋内運動場	005	小学校	体育館	S	1	646	42	H17	17.6	長寿命	第2次診断	18	0.80	0.80	C	D	C	B	B	40	H21耐震補強、H21体育館便所改修工事
4	桂陽小学校	教室棟	012	小学校	校舎	RC	3	2,371	41	H16	20.6	長寿命	第2次診断	21	0.77	0.81	A	D	C	B	B	45	H19耐震補強管理棟(生徒用便所、特別教室便所の改修)、H19大改(トイレ)、H28大改(空調)
5	桂陽小学校	管理棟	015	小学校	校舎	RC	1	532	39	H16	20.6	長寿命	第2次診断	21	1.80	1.89	B	B	C	B	B	62	
6	桂陽小学校	屋内運動場	016	小学校	体育館	RC	1	640	38	H18	20.6	長寿命	第2次診断	21	0.88	0.71	D	D	C	B	B	38	H19耐震補強(体育館の照明器具を自動昇降装置付きに取替え改修・体育館洗面所、便所の内装改修と衛生器具給排水配管の取換え工事)、H19大改(トイレ)
7	河内小学校	校舎	011	小学校	校舎	RC	2	2,320	22	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	A	B	B	B	84	
8	河内小学校	屋内運動場	012	小学校	体育館	RC	1	700	21	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	C	B	A	A	71	
9	草地小学校	管理、特別教室、教室棟	010	小学校	校舎	RC	3	1,674	36	H21	25	長寿命	第2次診断	25	0.62	0.77	C	D	C	B	B	40	H22(設計)サッシ一部取換工事(耐震性能の改善)、H23耐震改修 H28大改(空調)
10	草地小学校	屋内運動場	011	小学校	体育館	S	1	560	35	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	C	C	B	B	52	
11	呉崎小学校	管理、特別教室、教室棟	009	小学校	校舎	RC	3	1,674	34	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	D	D	C	B	B	38	H28大改(空調)
12	呉崎小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	1	560	33	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	C	C	B	B	49	
13	田染小学校	管理、特別教室棟、教室棟	010	小学校	校舎	RC	2	1,982	28	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	C	C	B	B	49	H28大改(空調)
14	田染小学校	屋内運動場	013	小学校	体育館	RC	1	699	25	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77	
15	真玉小学校	校舎棟	001	小学校	校舎	RC	2	3,095	14	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	A	A	A	A	100	H21(竣工)太陽光発電設備工事、H28大改(空調)
16	真玉小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	RC	1	1,127	14	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93	
17	臼野小学校	校舎	010	小学校	校舎	RC	2	1,440	34	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	H28大改(空調)
18	臼野小学校	給食室	011	小学校	給食センター	RC	1	80	34	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	
19	臼野小学校	屋内運動場	016	小学校	体育館	RC	1	701	18	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93	
20	三浦小学校	特別、普通教室棟	001	小学校	校舎	RC	2	1,414	40	H08	18	長寿命	第2次診断	18	0.78	0.78	B	B	B	B	A	78	H8大規模改修工事、H28大改(空調)、
21	三浦小学校	特別教室棟	006	小学校	校舎	RC	2	177	20	-	-	長寿命	第2次診断	-	-	-	A	B	A	A	A	93	
22	三浦小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	S	1	450	40	H21	23.9	長寿命	新耐震基準	24	-	-	B	B	B	B	B	75	H23耐震・大改
23	香々地小学校	教室棟	003	小学校	校舎	RC	2	827	47	H08	18	長寿命	第2次診断	18	0.81	0.40	C	B	C	C	C	50	H10(設計)大規模改修工事、H28大改(空調)
24	香々地小学校	校舎管理棟	005	小学校	校舎	RC	2	1,354	30	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	H28大改(空調)、危険校舎改築並びに増築工事
25	香々地小学校	給食室	009	小学校	給食センター	S	1	81	38	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	
26	香々地小学校	屋内運動場	011	小学校	体育館	S	1	613	26	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77	
27	高田中学校	教室棟、管理棟	010	中学校	校舎	RC	3	4,550	20	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93	H28大改(空調)
28	高田中学校	屋内運動場	014	中学校	体育館	RC	1	1,138	18	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	
29	河内中学校	管理、教室、特別教室棟	005	中学校	校舎	RC	3	1,678	31	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	H28大改(空調)
30	河内中学校	コンピュータ教室棟	007	中学校	校舎	RC	1	132	23	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	H28大改(空調)
31	河内中学校	屋内運動場	006	中学校	体育館	RC	2	686	30	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	D	C	C	B	B	46	
32	載星学園	教室棟	001	小学校	校舎	RC	2	827	4	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	A	A	A	93	H25小中一貫校行こうに伴い、都甲中学校敷地に教室棟を増築・移転、H28大改(空調)
33	載星学園	屋内運動場	004	小学校	体育館	S	1	462	47	H23	17.6	長寿命	優先度調査	18	-	-	A	B	C	C	C	55	H23耐震診断実地、H24耐震補強、H26(設計)都甲小学校屋内運動場・外部改修工事、H26(設計)都甲小学校屋内運動場内部改修工事
34	載星学園	校舎	009	中学校	校舎	RC	2	1,778	24	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	H24大改(教内)、H25(竣工)都甲小中一貫校施設整備工事、H28大改(空調)
35	載星学園	屋内運動場	010	中学校	体育館	RC	1	782	24	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	
36	田染中学校	教室、特別教室棟、管理棟	007	中学校	校舎	RC	2	1,678	27	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	H28大改(空調)
37	田染中学校	屋内運動場	008	中学校	体育館	RC	1	782	26	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	B	B	B	B	77	
38	真玉中学校	普通教室、特別教室、給食調理室棟	001	中学校	校舎	RC	2	2,888	20	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	C	B	A	B	65	H28大改(空調)
39	真玉中学校	屋内運動場	003	中学校	体育館	S	2	973	20	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	A	A	A	91	
40	香々地中学校	特別教室棟	001	中学校	校舎	RC	3	1,209	45	H20	16.7	長寿命	第2次診断	17	0.74	0.78	B	B	B	B	B	75	H21耐震補強、H28大改(空調)
41	香々地中学校	管理教室棟	002	中学校	校舎	RC	3	1,726	44	H07	-	長寿命	第2次診断	-	0.72	0.31	C	D	C	C	C	31	H28大改(空調)
42	香々地中学校	屋内運動場	003	中学校	体育館	S	1	805	43	H20	17.6	長寿命	第2次診断	18	0.78	1.20	B	B	B	B	B	75	H21耐震補強、H28大改(空調)H22(設計)、体育館電気設備工事
43	香々地中学校	柔道場	007	中学校	武道場	S	1	245	35	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	B	B	B	B	75	
44	夢いろ幼稚園	夢いろ幼稚園園舎	001	幼稚園	園舎	RC	1	1,047	13	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	C	B	B	A	A	78	
45	夢いろ幼稚園	園児クラス園舎	003	幼稚園	園舎	RC	1	65	8	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	A	A	A	A	100	
46	キラリいろ幼稚園	キラリいろ幼稚園園舎	001	幼稚園	園舎	W	1	424	14	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	B	A	A	A	A	98	
47	学校給食センター	給食センター棟	001	給食センター	給食センター	RC	1	1,614	10	-	-	長寿命	新耐震基準	-	-	-	A	C	A	A	A	83	

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

- Ⓐ 概ね良好
- Ⓑ 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- Ⓒ 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- Ⓓ 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

表 校舎（園舎・給食室）の外壁部の劣化状況

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価	B評価	A評価
40年～49年 7棟	<p>B評価の31%、3棟【香々地小学校・香々地中学校・三浦小学校】については問題ないと言える。残りのD評価の69%、4棟【高田小学校(教室・管理)・香々地中学校・桂陽小学校】については、<b>外壁からの漏水が見られる建物もあり、外壁面においては鉄筋の爆裂、ひび割れ、亀裂、塗装剥離が比較的多く確認できており、劣化の進行が見られることから改修時期を迎えている。</b></p> <p>延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% B(31%) D(69%)</p>	 <p>高田小学校:校舎2(築45年)1,833㎡</p>	-	 <p>三浦小学校 校舎1(築40年)1,414㎡</p>	-
30年～39年 8棟	<p>B評価の61%、6棟【桂陽小学校・香々地小学校(校舎・給食)・臼野小学校(校舎・給食)河内中学校】については問題ないと言える。残りのD評価の39%、2棟【草地小学校・呉崎小学校】外壁からの漏水が見られる建物もあり、外壁面においては鉄筋の爆裂、ひび割れ、亀裂、塗装剥離が比較的多く確認できており、劣化の進行が見られることから改修時期を迎えていると言える。</p> <p style="text-align: center;"><b>築後30年以上で劣化が進行</b></p> <p>延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% B(61%) D(39%)</p>	 <p>草地小学校 校舎1(築36年)1,674㎡</p>	-	 <p>臼野小学校 校舎1(築34年)1,440㎡</p>	-
20年～29年 8棟	<p>A・B評価の69%、6棟【A:河内小学校、B:田染中学校・載星学園(中)・河内中学校(コ)・高田中学校・三浦小学校】については老朽化は顕在化していません。残りのC評価の31%、2棟【真玉中学校】については、鉄筋の露出、外壁全体的にクラックや塗装剥離が多く確認され劣化が進行していることから、修繕が必要である。</p> <p>延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% A(15%) B(54%) C(31%)</p>	-	 <p>田染小学校 校舎1(築28年)1,982㎡</p>	 <p>載星学園中学 校舎1(築24年)1,778㎡</p>	 <p>河内小学校:校舎1(築22年)2,320㎡</p>
20年未満 6棟	<p>A・B評価の77%、5棟【A:キラいろ幼稚園・真玉小学校・夢いろ幼稚園(園児クラス)、B:夢いろ幼稚園・載星学園(小)】については老朽化は顕在化していません。残りのC評価の23%、1棟【学校給食センター】については、外壁からの漏水が確認されており、外壁全体的にクラックや塗装剥離が多く確認されることから、修繕が必要である。</p> <p>延床面積比 0% 25% 50% 75% 100% A(51%) B(26%) C(23%)</p>	-	 <p>学校給食センター 給食センター(築10年)1,614㎡</p>	 <p>夢いろ幼稚園 園舎1(築13年)1,047㎡</p>	 <p>キラいろ幼稚園 園舎1(築14年)424㎡</p>












原因となる躯体の劣化現象が発生している



2.桂陽小学校:校舎2(管理棟)、RC造1階建て、延床面積532㎡

部位	写真
1 ・ 屋根 ・ 屋上	  <p data-bbox="1308 569 1412 594">②防水シート</p>
①全景	
2 ・ 外壁	   
①大きな亀裂がある	②雨樋錆、破損
③外壁塗装剥がれ	④軒天に雨漏れの跡あり

2.桂陽小学校:校舎1(教室棟)、RC造3階建て、延床面積2,275㎡

部位	写真				
1 ・屋根 ・屋上					
					
	②屋上汚れ				
	①全景				
2 ・外壁					
	①外壁クラック	③窓の不具合 窓シーリング破損	⑤鉄筋が見えているところがある	⑦外階段裏暴露	⑨ベランダ壁下部破損 ベランダ笠木破損
					
	②大きな亀裂がある	④雨樋に錆	⑥暴露、塗装の剥がれ	⑧扉に錆	

## 協議・調整事項

### (4) 児童・生徒数の今後の推移と35人学級制 について

# 公立小35人学級移行へ

40人が机を並べる大分市松岡小の教室。今後は35人が上限になる(画像を一部加工しています)＝同市松岡、撮影・江藤成吾



# きめ細かい教育に期待

国は新年度から、公立小学校の35人学級化に着手する。現行の40人が1割以上縮小される大規模改革とあって、大分県内の学校関係者は「きめ細かい指導ができる」と期待を寄せる。定員が減る代わりに全体の学級数は増加するため、教室や教員不足への懸念は残る。スムーズな移行に向けて、校舎の整備や人材の確保が課題となりそうだ。

## 県内 教室、教員の確保課題

コロナ対策の負担  
大分市松岡の松岡小(石川照代校長)は1030人が通う大規模校。4年の4クラスは、いずれもほぼ上限の39、40人の児童が学ぶ。中学年になって授業内容は徐々に難しくなり、新型コロナウイルス対策で実施する一人一人の健康観察の負担も軽くない。  
1組担任の阿部美代教諭(53)は「一人の児童にかかる時間を増やしたい。1クラス30人でもいいくらい」。少人数化を歓迎する。  
変化は22年度以降  
現在の制度は小1のみ35人以下で、小2、6は40人が上限。政府は2021年度の小2を皮切りに、年度ごとに上の学年に拡大していく方針を示す。  
大分県は04年度から始めた独自施策で、1、2年を30人以下にしており、変化が起きるのは小3が35人になる22年度以降となる。  
児童への目が届きやすくなり、良質な教育への期待が高まる一方で、教室不足は避けられそうにない。  
県教委は年間20、30程度の学級が増えるの見込み。人口増加地域にある大分市の明治や大在、下郡などの各小は既に教室数が足りず、一部はプレハブ校舎を

設置している。多くの学校は空き教室で対応できる見通しとはいえ、市教委は「画には環境整備にかかる補助制度を充実してほしい」と求める。  
退職者の再任用も  
教員の確保も課題となる。県教委によると、学級数の増加に対応するため、25年度までに100人規模の増員が必要になるとみられる。また、近年は全国的に教員志望者が減少し、人材確保に苦戦している実情がある。県教委が実施した本年度の小学校教員採用試験の倍率は過去最低の1・4倍だった。  
県教委教育人事課は「教員免許を持っていて他の職業に就いている人に協力を呼び掛け、退職教員に再任用を促すことで必要な人材を確保していきたい」と話した。  
(八坂啓佑)



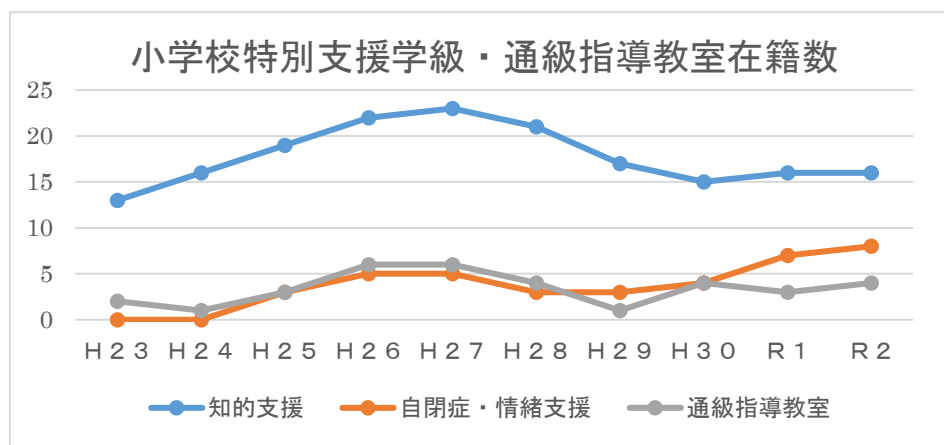
35人学級 政府は、2021年度から公立小学校の1学級当たりの上限人数を35人とする義務教育標準法改正案を閣議決定した。児童へのきめ細かい教育が目的。上限人数の引き下げは1988年度に45人を40人にして以来、約10年ぶり。民主党政権下の2011年度に小1のみ35人にする法改正があった。12年度以降は教員の配置を工夫することで小2の35人学級を準備していた。

令和2年度 特別支援教育に係る豊後高田市内の状況

1. 小中学校特別支援学級・通級指導教室在籍数

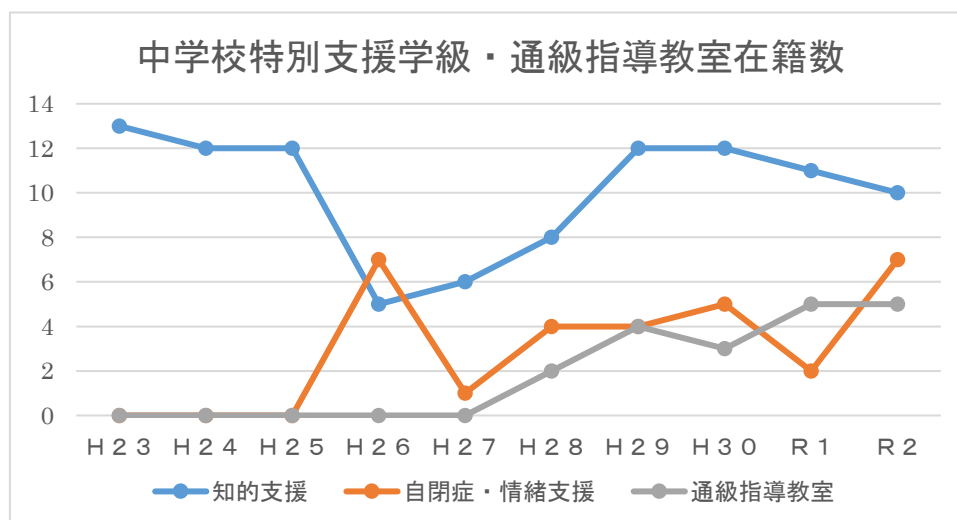
①【小学校】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
知的支援	13	16	19	22	23	21	17	15	16	16
自閉症・情緒支援	設置無し	設置無し	3	5	5	3	3	4	7	8
支援学級在籍総数	13	16	19	27	28	24	20	19	23	24
通級指導教室	2	1	3	6	6	4	1	4	3	4



②【中学校】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
知的支援	13	12	12	5	6	8	12	12	11	11
自閉症・情緒支援	0	0	0	7	1	4	4	5	2	7
支援学級在籍総数	13	12	12	12	7	12	16	17	13	17
通級指導教室	設置無し	設置無し	設置無し	設置無し	設置無し	2	4	3	5	5

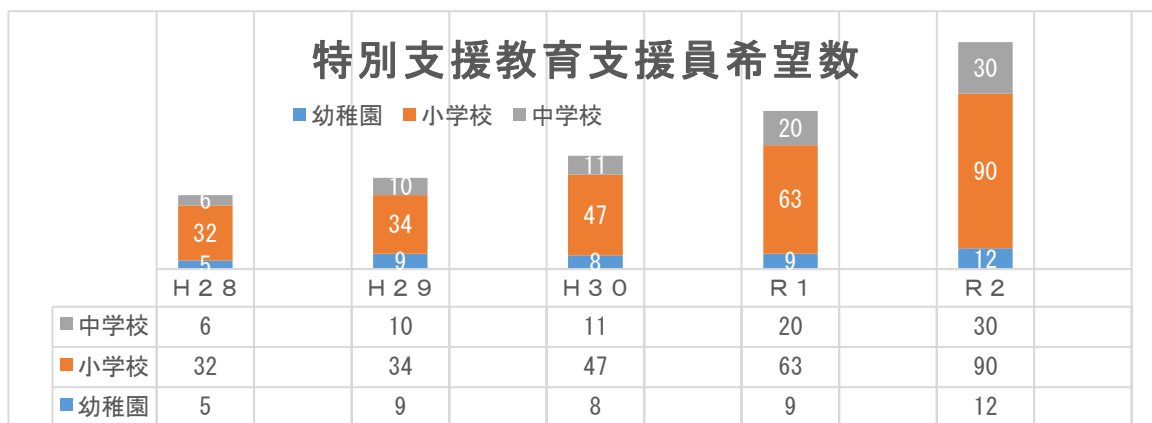


③ 市外から転入し、特別支援学級・通級指導教室を希望した児童・生徒

令和元年 (特別支援学級：3名 通級指導指導教室：1名)

令和2年 (特別支援学級：3名)

## 2. 特別支援教育支援員を希望する園児・児童・生徒数



## 3. 特別支援教育支援員配置数

	H28	H29	H30	R1	R2
幼稚園	5	6	5	5	5
小学校	16	17	19	26	25
中学校	3	5	6	4	5
合計	24	28	30	35	35

常時、支援員一人当たり担当児童生徒一人という状況は、どの園、小学校、中学校においても実現はできないため、支援員一人で複数人、複数学級を担当している状況

## 4. 通常学級在籍で、特別な支援を必要としている児童・生徒数（R2.5.1現在）

【幼稚園】

	幼稚園・認定こども園数(園)	幼児数(人)	
在籍する幼児数	2	133	
特別な支援を必要とする幼児数と園での在籍有無(いる:1)	2	11	8.2%
行動面で著しい困難のある幼児数と園での在籍有無(いる:1)	2	9	6.7%
診断を受けている幼児数と園での在籍の有無(いる:1)	1	3	2.2%

【小学校】

学校情報	学校数		通常の学級	特別支援学級
	本校(校)	分校(校)	児童数(人)	児童数(人)
	11	0	979	24
特別な支援を必要とする児童数と在籍の有無(在籍している:1を入力)	10	0	89	9.09%
学習面や行動面で著しい困難がある児童数と在籍の有無(在籍している:1を入力)	9	0	82	8.38%
診断を受けている児童数と在籍の有無(在籍している:1を入力)	6	0	24	2.45%

【市内中学校】

学校情報	学校数		通常の学級	特別支援学級
	本校(校)	分校(校)	生徒数(人)	生徒数(人)
	6	0	491	18
特別な支援を必要とする生徒数と在籍の有無(在籍している:1を入力)	6	0	33	6.72%
学習面や行動面で著しい困難がある生徒数と在籍の有無(在籍している:1を入力)	6	0	21	4.28%
診断を受けている生徒数と在籍の有無(在籍している:1を入力)	4	0	5	1.02%

注：調査について

項目①「特別な支援を必要とする児童生徒数」・・・担任や教科担当が特別な支援を要している児童生徒

項目②「学習面や行動面で著しい困難がある児童生徒数」・・・項目①に対し、質問紙による調査を実施し一定以上の項目に該当した児童生徒



【豊後高田市小中学校 通常学級に在籍する児童生徒数】 1,470 人

【学習面と行動面で著しい困難がある児童生徒数】 103 人

7.0%

## 5. 就学等相談

### ①就学等相談件数

	H30	R1	R2
小学校入学	10	11	14
小学校転入	1	2	2
中学校入学	1	0	1
支援学校転学	0	0	3

### ②相談内容

(小学校入学)

- ・支援学校もしくは小学校どちらの校種へ入学するか。

(医師等からは支援学校への入学も視野に助言されているが、保護者が小学校への入学を希望するケース) ⇒R3年度入学 4件 障がいの程度は重度知的障がい～中等度知的障がい

排泄の自立×

コミュニケーションの為の言語理解×

- ・児童の実態をふまえての学校選択や学級種の検討
- ・特別支援教育支援員の配置希望
- ・入学に際しての保護者の不安

➤就学する小学校決定後

- ・スムーズな小学校接続期のために、1年から半年かけて就学先との連携  
(複数回の学校見学や市教委、学校との相談、準備)

(中学校入学)

- ・小学校における適応状況をふまえての学校選択

(支援学校転学)

- ・支援学校への途中転学の希望

小学校⇒支援学校小学部

小学校卒業⇒支援学校中学部入学

## 協議・調整事項

### (5) 中学3年生の進路状況について





## 協議・調整事項

### (6) いじめ・不登校対策について

# 令和2年度2学期末のいじめ・不登校状況調査結果

豊後高田市教育委員会

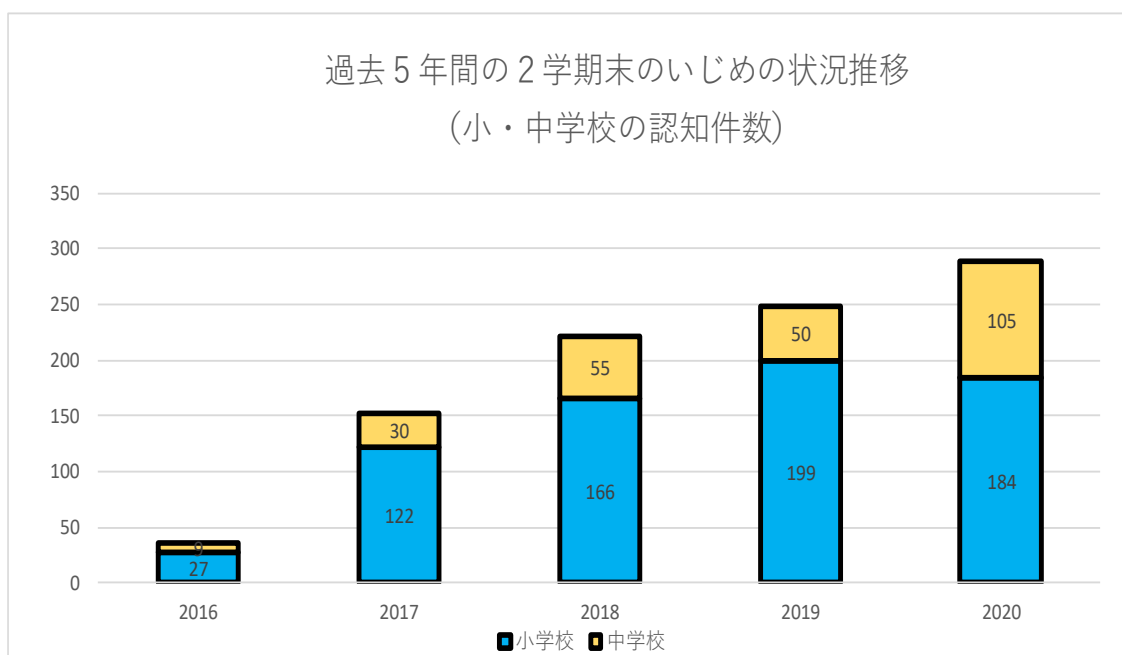
いじめを認知した学校数、いじめの認知件数

R2年度	認知した	認知しない	認知件数
小学校	11	0	184
中学校	5	1	105
計	16	1	289

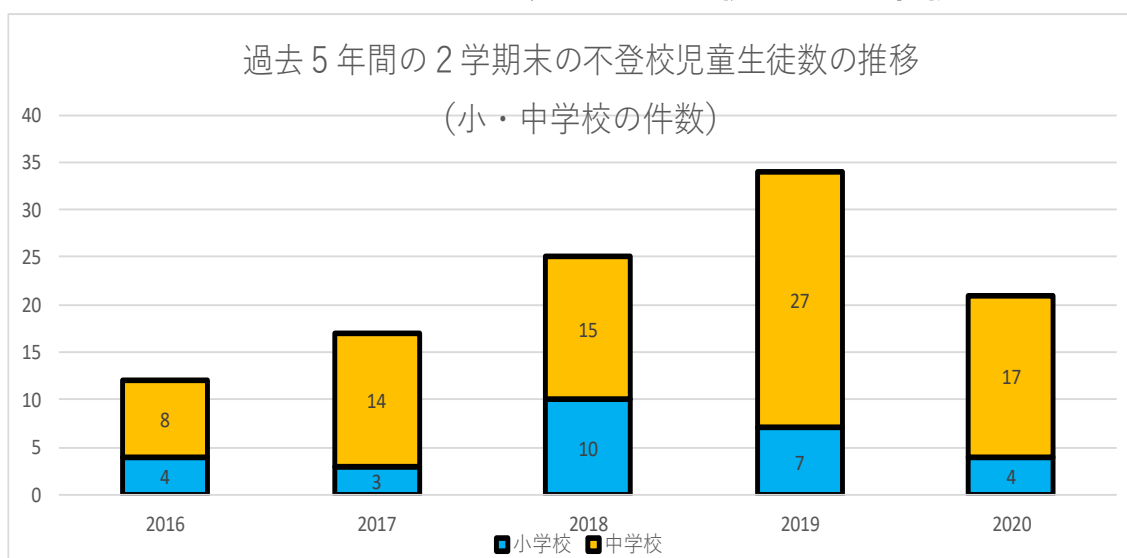
いじめの現在の状況

R2年度	解消した	取組中	その他	計
小学校	81	103	0	184
中学校	65	40	0	105

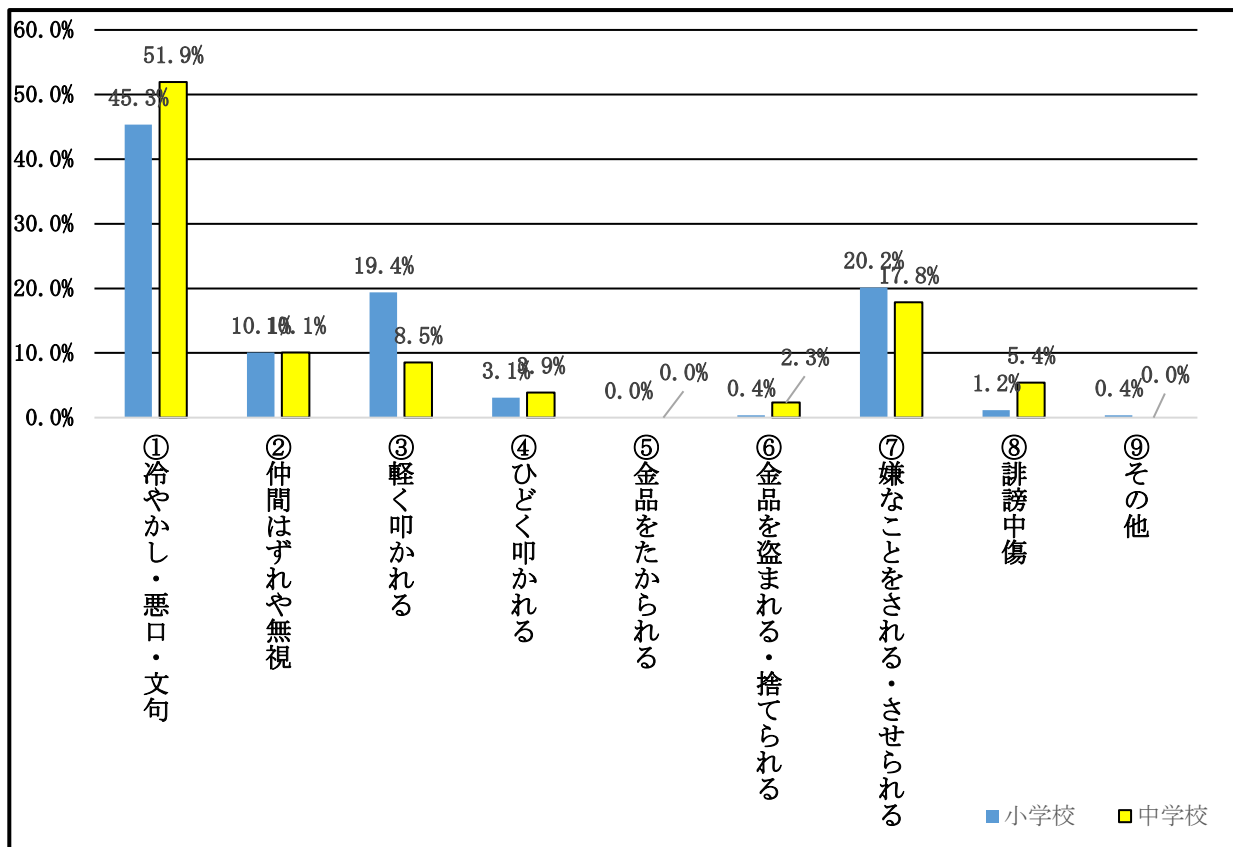
## 過去5年間の2学期末のいじめ状況の推移



## 過去5年間の2学期末の不登校状況の推移



## いじめの態様



## いじめ発見のきっかけ

